

平成28年5月の鉱工業活動  
図表集

平成28年7月13日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成28年5月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	94.7	93.5	113.9	117.8
前月比	▲ 2.6%	▲ 2.6%	0.4%	1.8%
指数水準	H28.2 93.2以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H28.2 92.8以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H28.3 115.4以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H28.3 118.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月ぶり+ (H28.3以来)	2か月ぶり+ (H28.3以来)
前月比幅	H28.2 ▲5.2%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H28.2 ▲4.1%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H28.3 2.9%以来 I H23.5 4.7% II H28.3 2.9% III H24.3 2.5%	H28.3 3.3%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 0.4%	▲ 1.0%	0.8%	2.6%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H28.4～当月)	6か月連続▲ (H27.12～当月)	3か月連続+ (H28.3～当月)	6か月連続+ (H27.12～当月)
前年同月比幅	H28.4 ▲3.3%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.4 ▲3.4%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H28.3 1.8%以来 I H24.3,4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H28.3 3.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

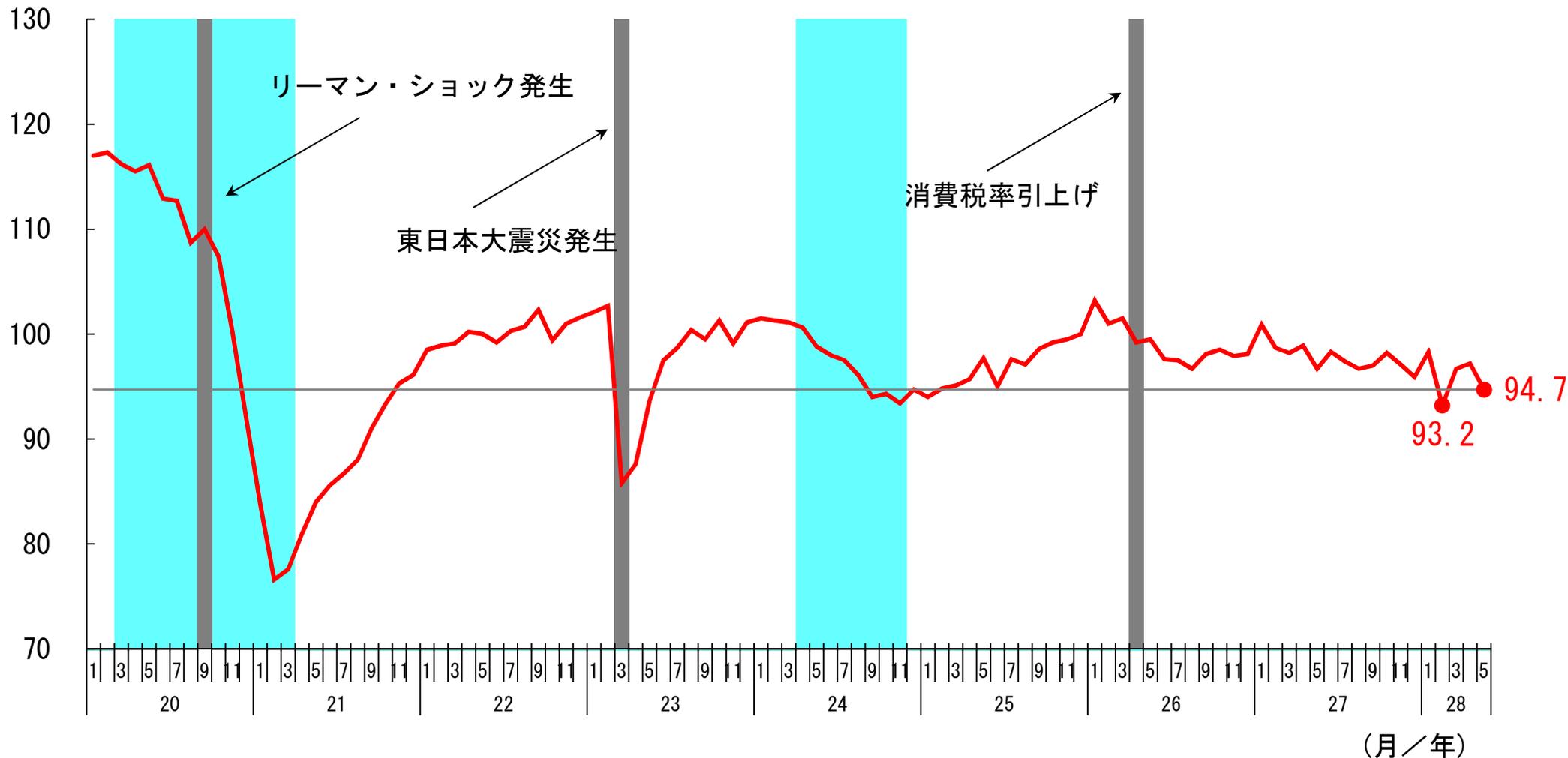
1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年5月の鉱工業生産指数は94.7(前月比▲2.6%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成28年2月の93.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。  
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

# 平成28年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
<b>鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目</b>	<b>1位の業種</b>	<b>輸送機械工業</b>	<b>0.8%</b>	<b>6.1%</b>
	品目	船舶・同機関	2.4%	1.2%
		鉄道車両	24.8%	1.1%
	<b>2位の業種</b>	<b>情報通信機械工業</b>	<b>4.3%</b>	<b>4.2%</b>
	品目	電子計算機	29.8%	11.1%
		その他の情報通信機械	16.0%	1.1%
<b>3位の業種</b>	<b>石油・石炭製品工業</b>	<b>3.4%</b>	<b>2.2%</b>	
品目	石油製品	3.5%	2.2%	
	石炭製品	1.0%	0.0%	
<b>鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目</b>	<b>1位の業種</b>	<b>化学工業</b>	<b>▲ 6.1%</b>	<b>▲ 31.2%</b>
	品目	化粧品	▲ 8.5%	▲ 10.4%
		有機薬品	▲ 11.6%	▲ 5.3%
	<b>2位の業種</b>	<b>はん用・生産用・業務用機械工業</b>	<b>▲ 2.6%</b>	<b>▲ 14.8%</b>
	品目	土木建設機械	▲ 9.5%	▲ 6.4%
		生活関連産業用機械	▲ 20.5%	▲ 5.2%
<b>3位の業種</b>	<b>食料品・たばこ工業</b>	<b>▲ 4.5%</b>	<b>▲ 11.8%</b>	
品目	酒類	▲ 15.3%	▲ 9.8%	
	清涼飲料	▲ 2.8%	▲ 2.3%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

# 平成28年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	40.5%	26.9%
	2位	電子計算機	29.8%	11.1%
	3位	石油製品	3.5%	2.2%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	集積回路	▲ 9.1%	▲ 10.8%
	2位	化粧品	▲ 8.5%	▲ 10.4%
	3位	酒類	▲ 15.3%	▲ 9.8%

## <財別＝用途別>

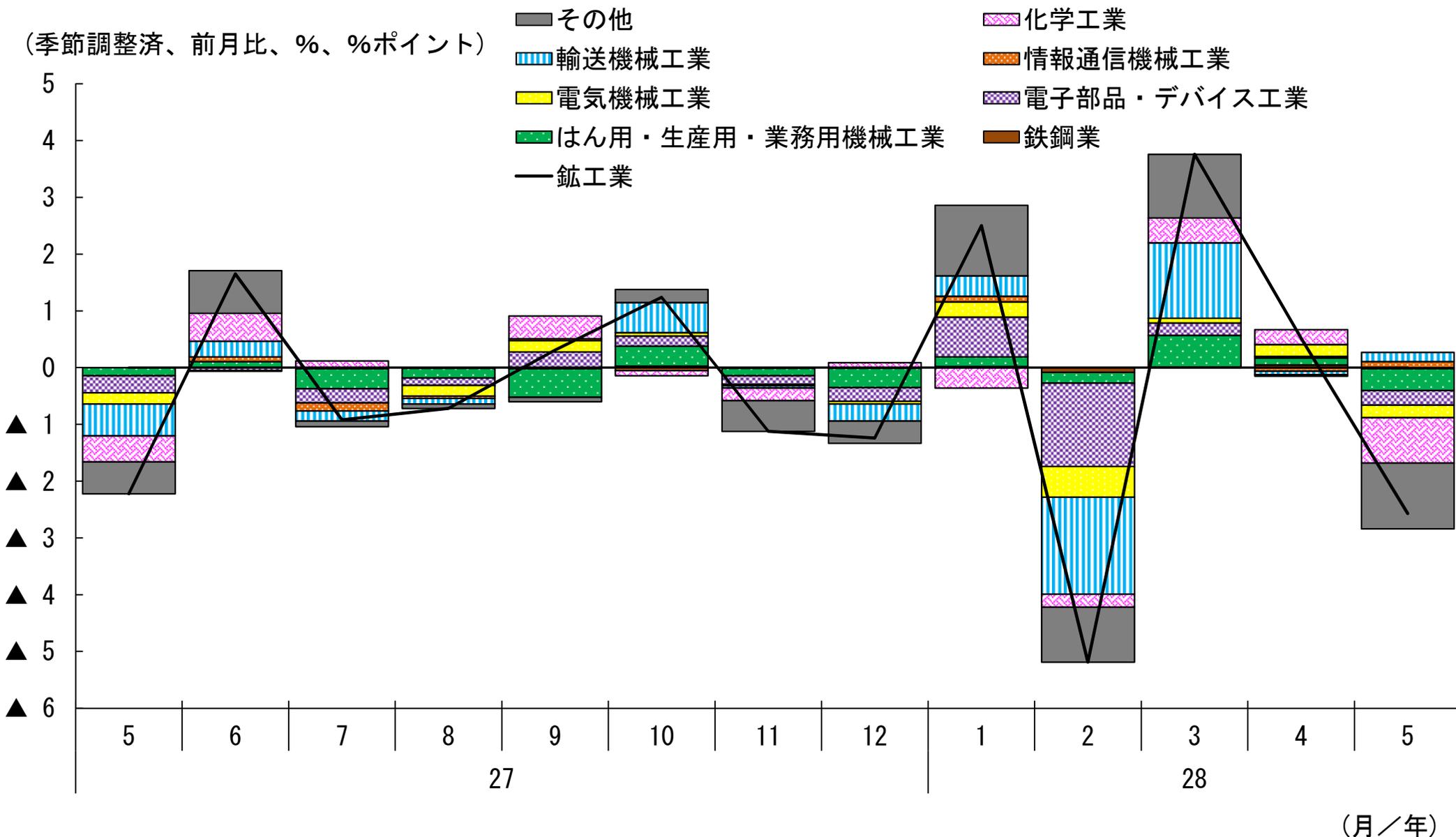
		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財		▲ 2.9%	▲ 56.6%
		駆動伝導・操縦装置部品		▲ 7.6%	▲ 7.1%
		モス型半導体集積回路（メモリ）		▲ 14.2%	▲ 7.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財		▲ 3.7%	▲ 20.9%
		ファンデーション		▲ 19.2%	▲ 3.5%
		洗顔クリーム・フォーム		▲ 20.0%	▲ 1.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財		▲ 3.0%	▲ 6.5%
		橋りょう		▲ 26.4%	▲ 4.0%
		システムキッチン		▲ 4.7%	▲ 0.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財		▲ 1.3%	▲ 5.3%
		カーナビゲーションシステム		▲ 14.5%	▲ 3.2%
		セパレート形エアコン		▲ 9.5%	▲ 3.2%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）		0.6%	3.9%
		半導体製造装置		50.3%	24.9%
		デスクトップ型パソコン		109.5%	4.5%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

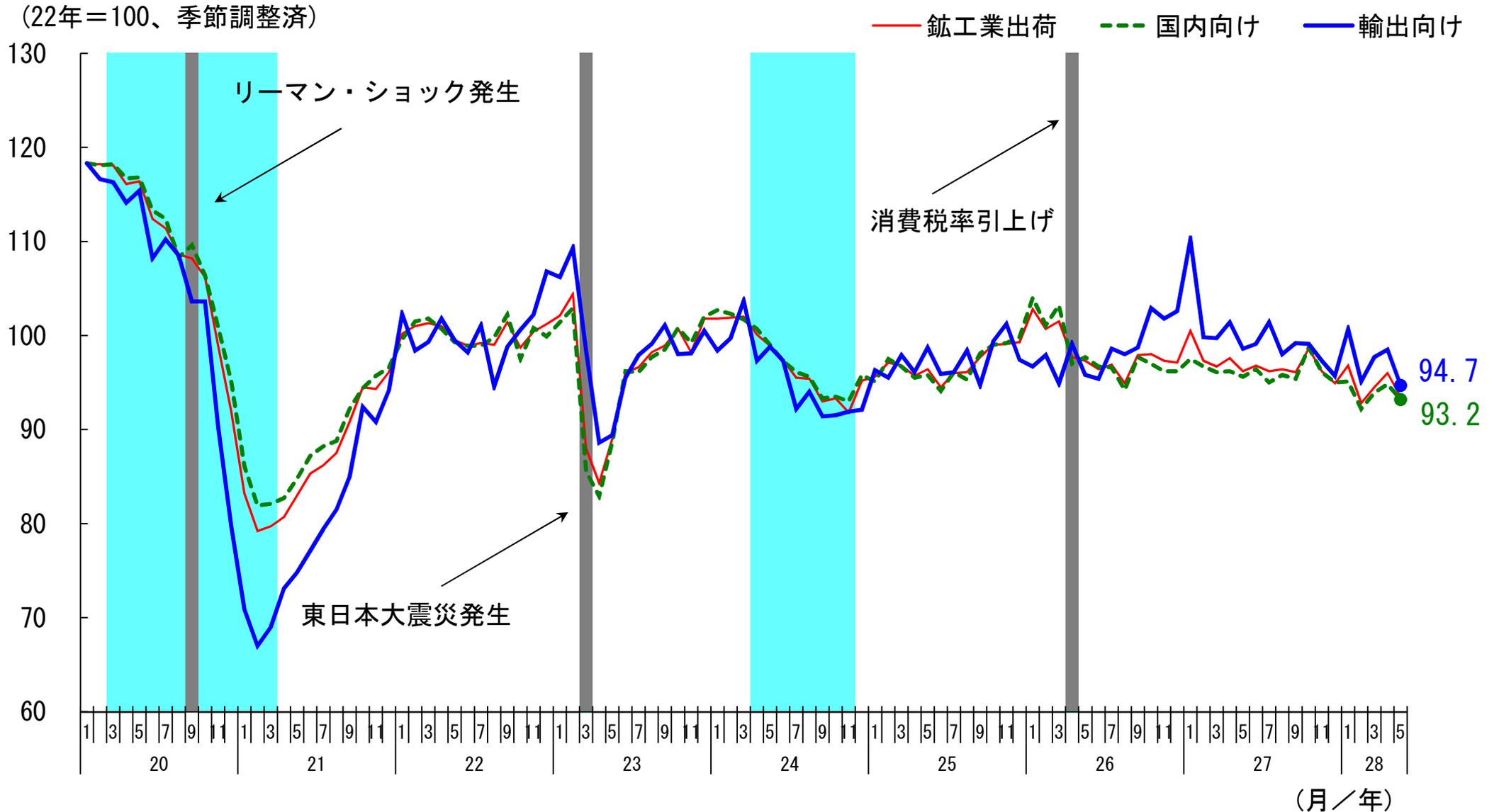
- 平成28年5月の生産指数は輸送機械工業などが上昇したものの、化学工業などが低下したため、前月比▲2.6%の低下。





# 国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年5月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは93.2(前月比▲1.7%)と3か月ぶりの低下、輸出向けは94.7(前月比▲3.9%)と3か月ぶりの低下。



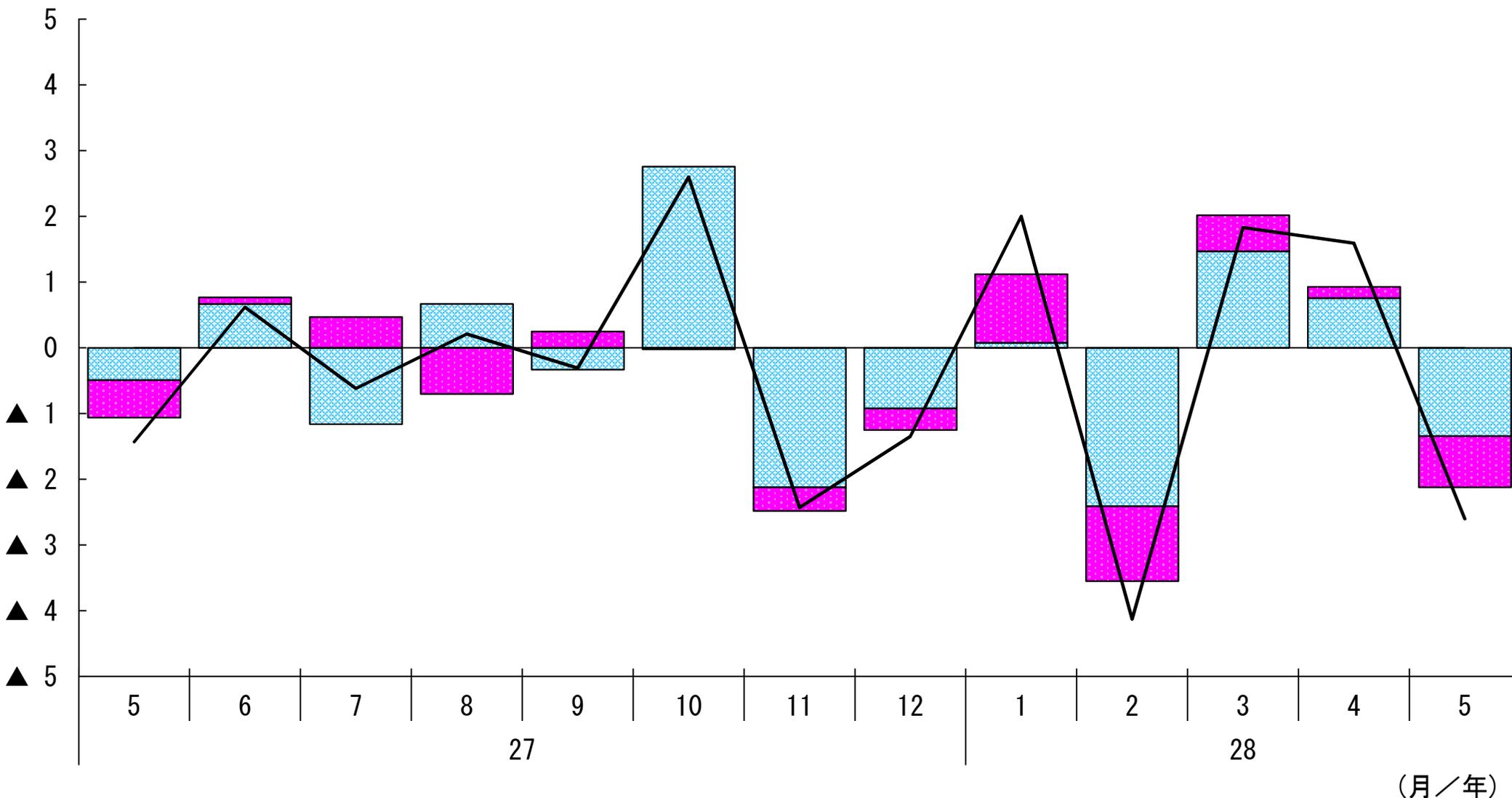
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鋳工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年5月の鋳工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比▲2.6%の低下。

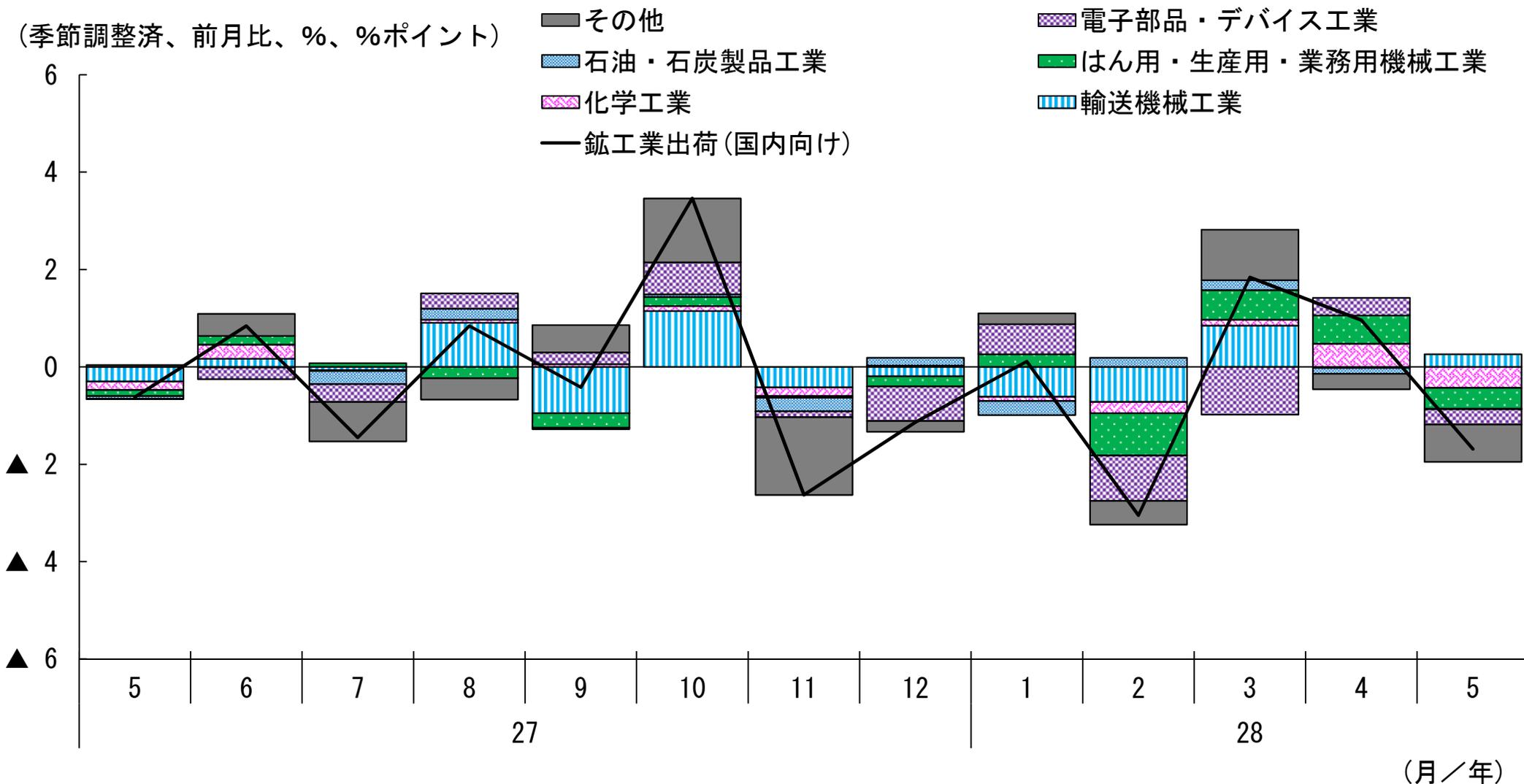
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け    ■ 国内向け    — 鋳工業出荷



# 国内向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、化学工業などが低下。

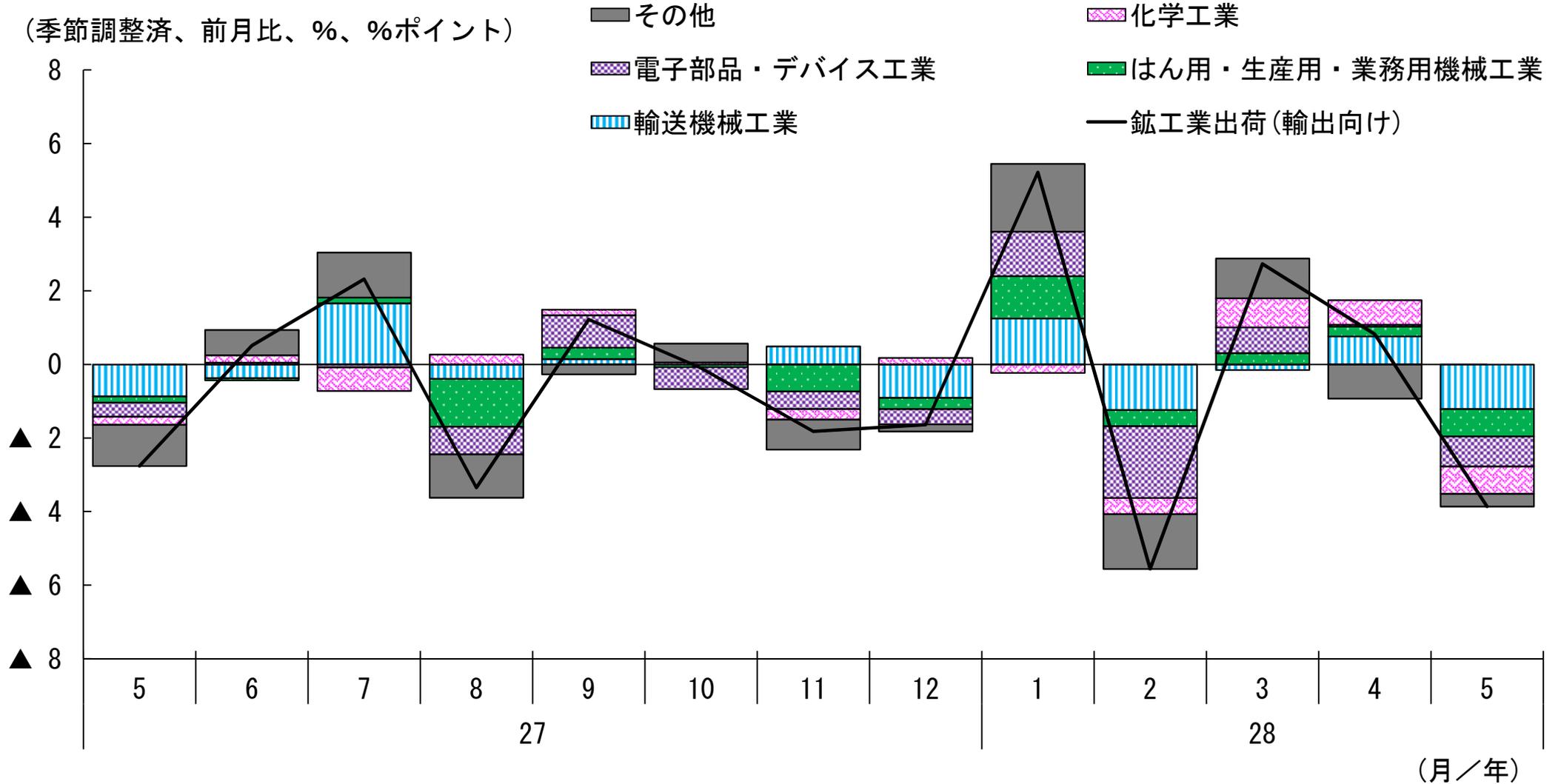


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。  
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

# 輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



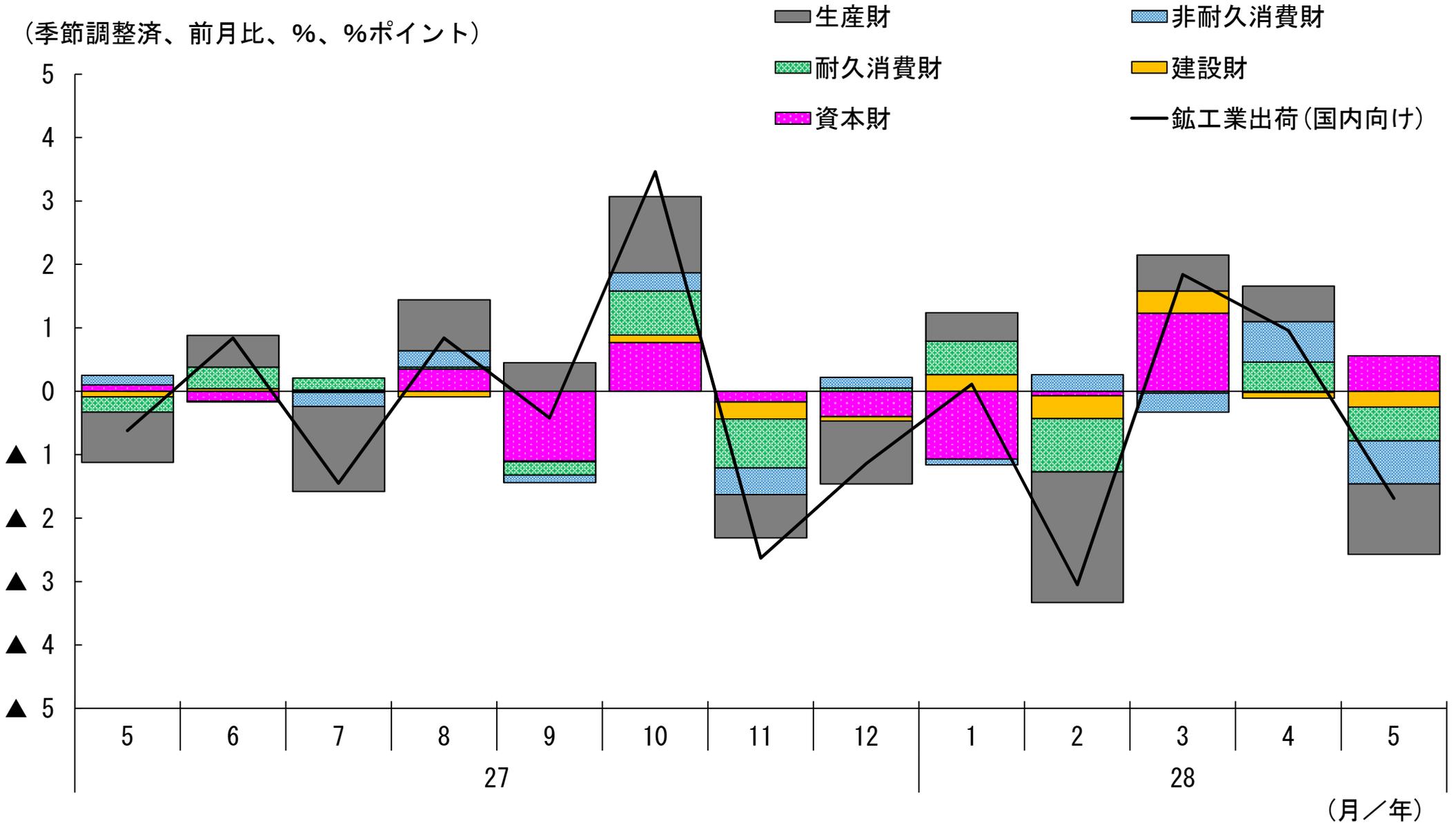
(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

# 国内向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年5月の国内向け出荷を、財別にみると、資本財が上昇したものの、生産財などが低下。

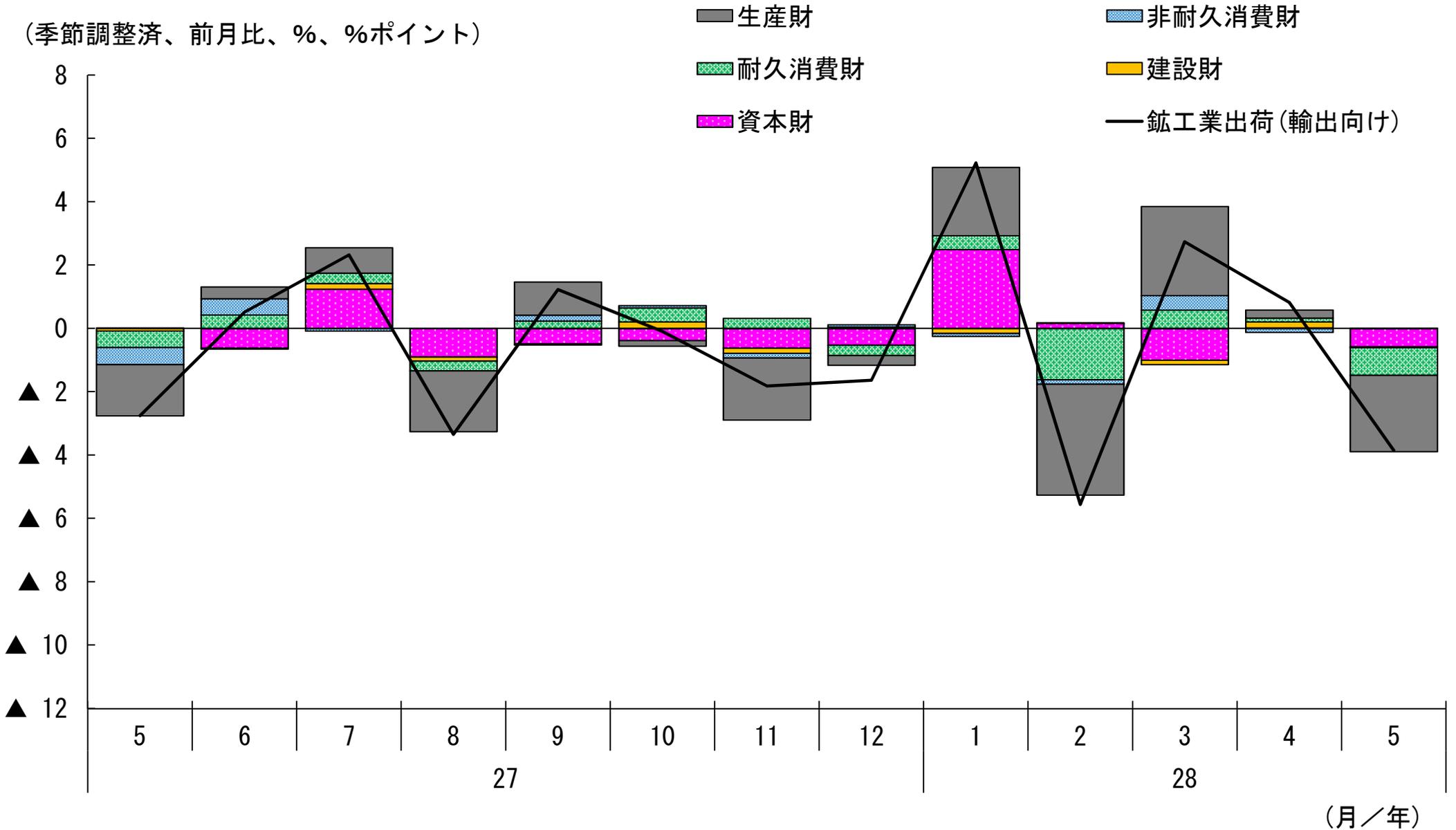
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年5月の輸出向け出荷を、財別にみると、非耐久消費財が上昇したものの、生産財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 平成28年5月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
<b>鉱工業</b>	<b>▲ 1.7</b>	<b>▲ 51.4</b>
<b>鉱工業用生産財</b>	<b>▲ 2.6</b>	<b>▲ 33.9</b>
電子部品・デバイス工業	▲ 4.9	▲ 9.6
石油・石炭製品工業	▲ 11.0	▲ 4.4
<b>非耐久消費財</b>	<b>▲ 4.6</b>	<b>▲ 20.6</b>
食料品・たばこ工業	▲ 6.8	▲ 13.0
化学工業	▲ 6.3	▲ 9.3
<b>耐久消費財</b>	<b>▲ 4.1</b>	<b>▲ 16.2</b>
輸送機械工業	▲ 4.6	▲ 13.2
情報通信機械工業	▲ 13.8	▲ 6.4
<b>建設財</b>	<b>▲ 3.9</b>	<b>▲ 7.7</b>
金属製品工業	▲ 8.6	▲ 7.4
窯業・土石製品工業	▲ 2.2	▲ 0.7
<b>その他用生産財</b>	<b>0.9</b>	<b>1.4</b>
石油・石炭製品工業	2.6	2.5
鉱業	3.9	0.1
<b>資本財</b>	<b>3.1</b>	<b>17.1</b>
輸送機械工業	7.8	11.4
情報通信機械工業	20.6	5.7

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

# 平成28年5月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

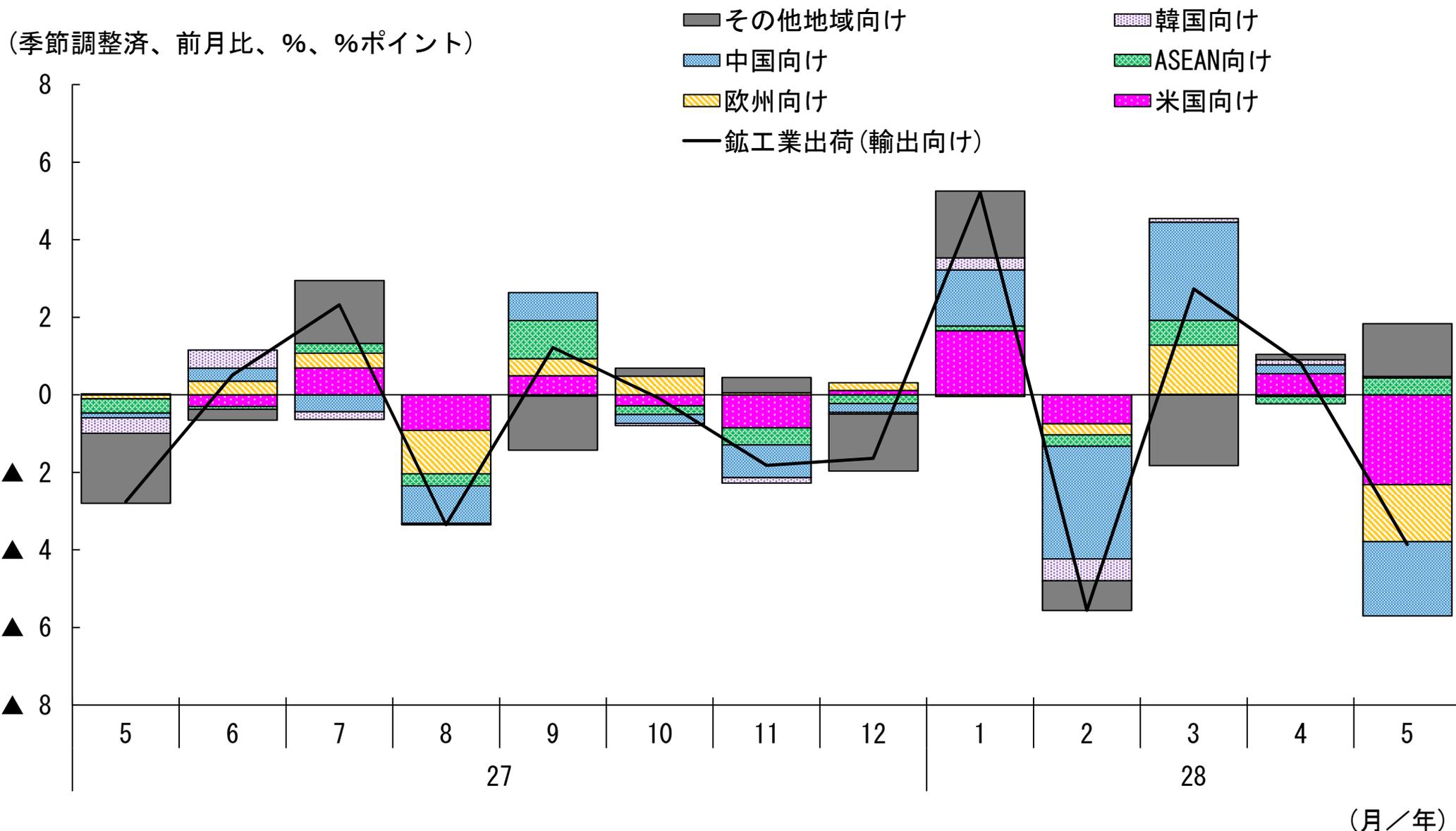
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
<b>鉱工業</b>	<b>▲ 3.9</b>	<b>▲ 30.0</b>
<b>鉱工業用生産財</b>	<b>▲ 4.4</b>	<b>▲ 19.8</b>
電子部品・デバイス工業	▲ 7.0	▲ 6.2
化学工業	▲ 8.1	▲ 5.3
<b>耐久消費財</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>▲ 6.7</b>
輸送機械工業	▲ 5.3	▲ 4.5
情報通信機械工業	▲ 12.7	▲ 0.9
<b>資本財</b>	<b>▲ 2.9</b>	<b>▲ 4.5</b>
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.4	▲ 2.9
輸送機械工業	▲ 3.5	▲ 1.6
<b>建設財</b>	<b>▲ 1.7</b>	<b>▲ 0.3</b>
鉄鋼業	▲ 10.5	▲ 0.3
化学工業	▲ 13.0	▲ 0.1
<b>非耐久消費財</b>	<b>0.3</b>	<b>0.1</b>
石油・石炭製品工業	36.8	1.1
パルプ・紙・紙加工品工業	29.0	0.2
<b>その他用生産財</b>	<b>9.0</b>	<b>2.4</b>
石油・石炭製品工業	26.6	3.4
金属製品工業	2.8	0.0

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

# 輸出向け出荷への地域別寄与度分解

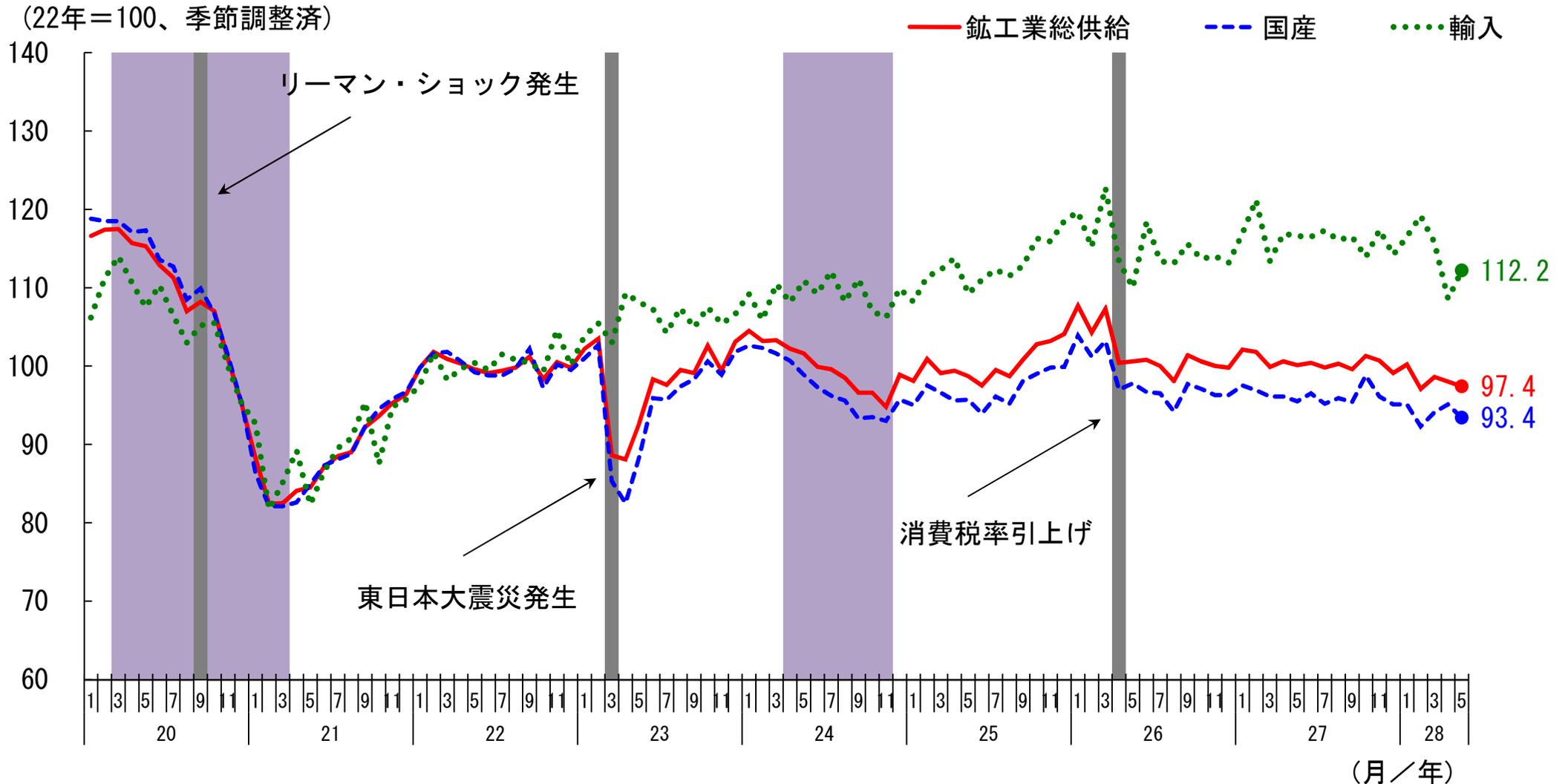
- 平成28年5月の輸出向け出荷を、地域別にみると、その他地域向けなどが上昇したものの、米国向けなどが低下。



(注) 試算値。

# 鋳工業総供給指数の動向

- ・平成28年5月の鋳工業総供給指数は97.4(前月比▲0.6%)と2か月連続の低下。
- ・内訳をみると、国産は93.4(前月比▲1.8%)と3か月ぶりの低下、輸入は112.2(前月比3.3%)と3か月ぶりの上昇。

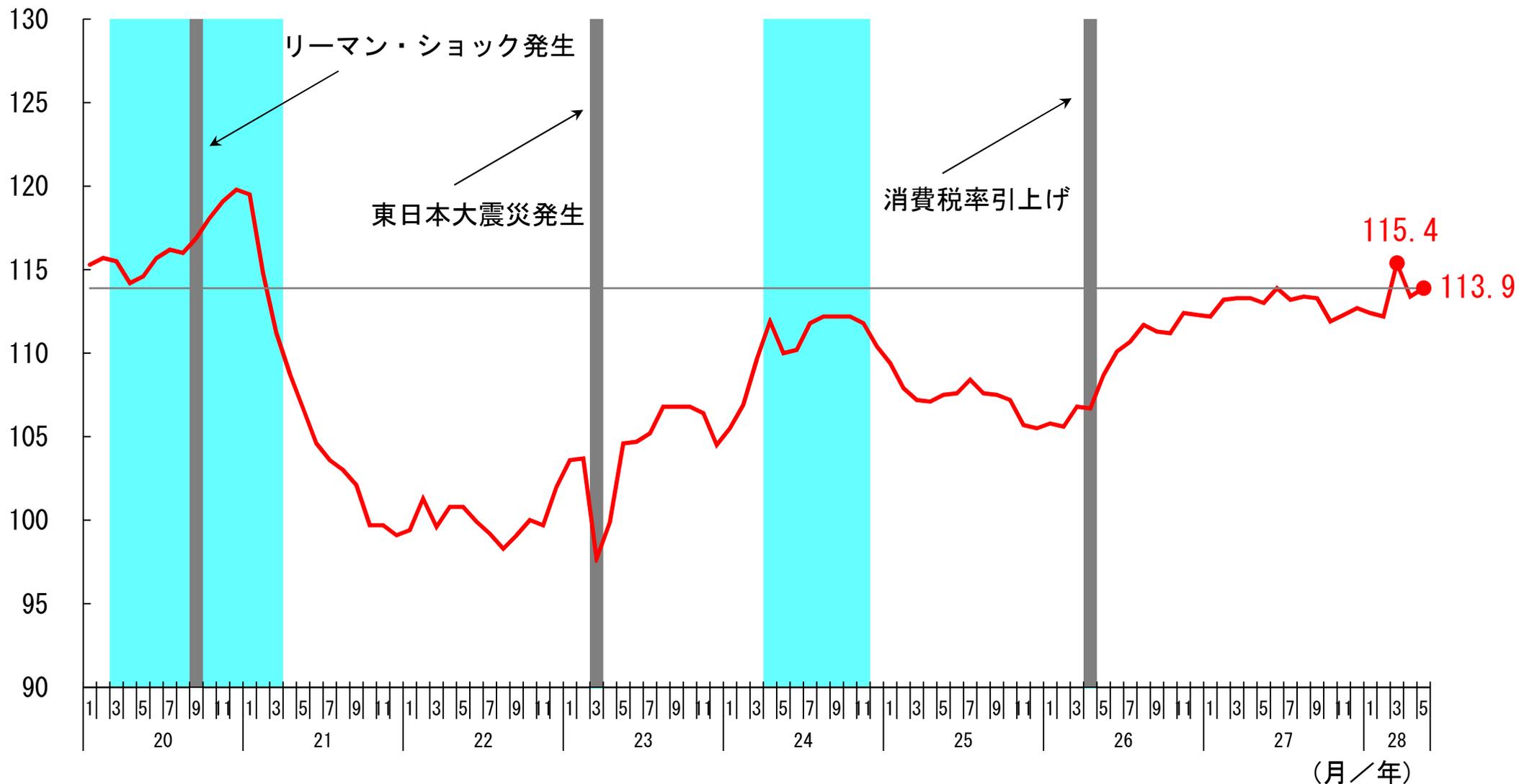


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年5月の在庫指数は113.9(前月比0.4%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年3月の115.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

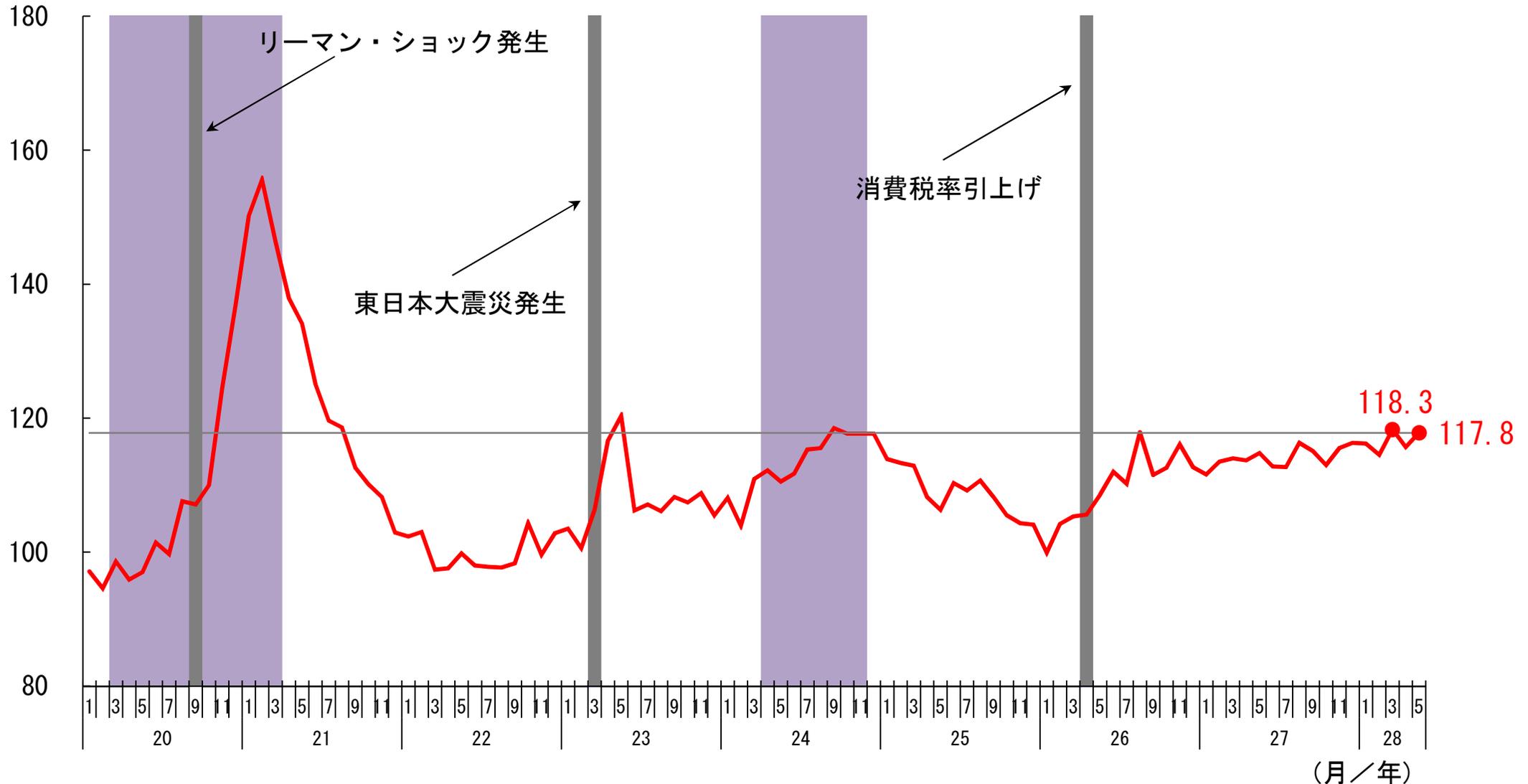


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成28年5月の在庫率指数は117.8(前月比1.8%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年3月の118.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

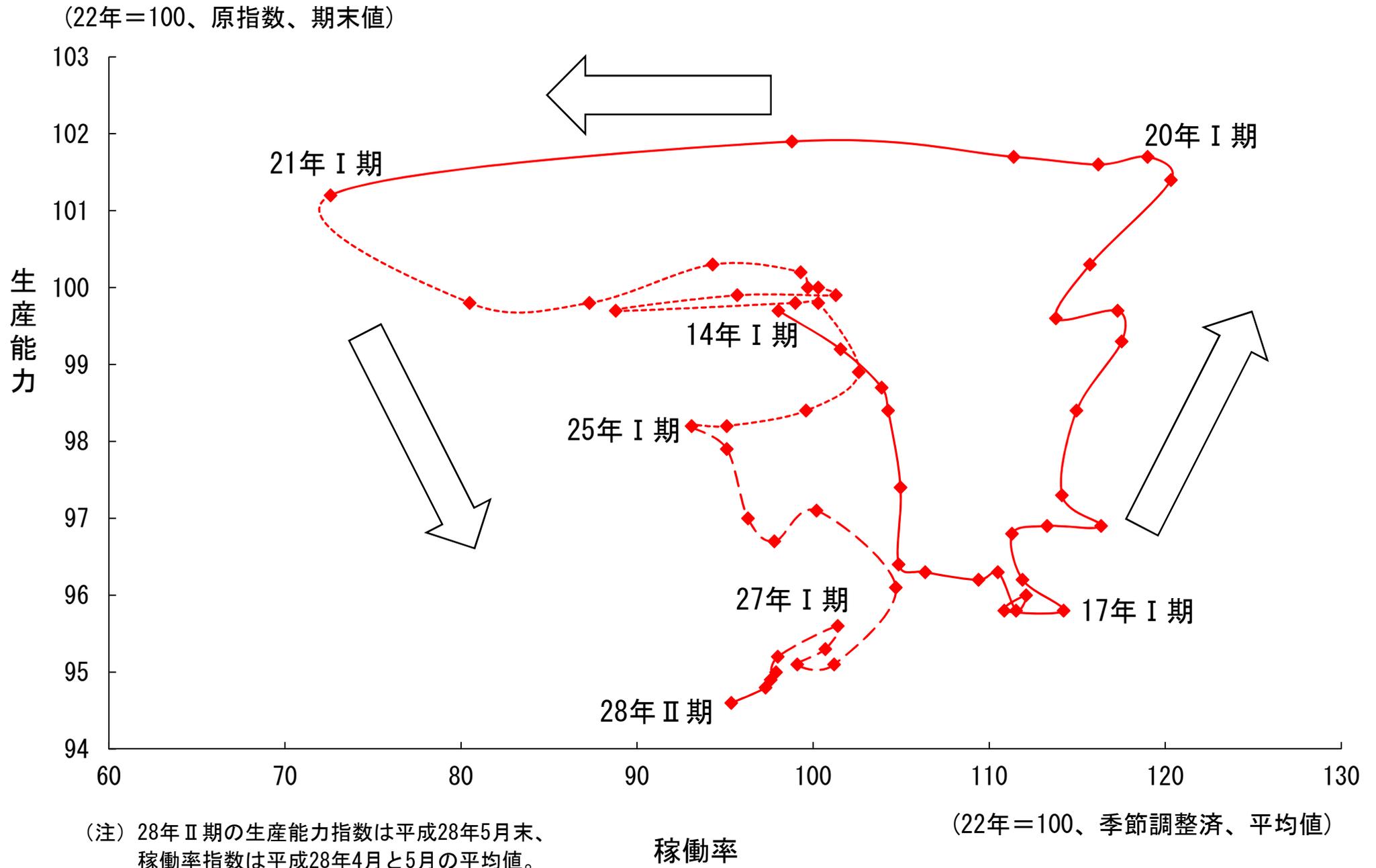
# 平成28年5月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	94.2	93.2	96.4	94.6 (原指数)	95.7 (原指数)	93.0 (原指数)
前月比	▲ 2.4%	▲ 1.7%	▲ 2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
指数水準	H24.12 94.0以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H28.2 93.0以来 ①H21.2 63.9 ②H21.3 66.4 ③H23.4 69.7	H26.6 95.6以来 ①H21.3 76.8 ②H21.2 77.8 ③H21.1 82.5	—	—	—
前月比の動き	2か月連続▲ (H28.4～当月)	2か月連続▲ (H28.4～当月)	3か月ぶり▲ (H28.2以来)	—	—	—
前月比幅	H28.2 ▲5.4%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H28.4 ▲2.3%以来 ①H23.3 ▲28.6% ②H21.1 ▲15.0% ③H21.2 ▲14.8%	H23.3 ▲10.9%以来 ①H23.3 ▲10.9% ②H21.1 ▲7.9% ③H20.12 ▲7.6%	—	—	—
前年同月比(原指数)	▲ 1.2%	▲ 1.7%	▲ 0.4%	▲ 0.9%	▲ 0.5%	▲ 1.5%
前年同月比の動き	6か月連続▲ (H27.12～当月)	17か月連続▲ (H27.1～当月)	4か月ぶり▲ (H28.1以来)	10か月連続▲ (H27.8～当月)	5か月連続▲ (H28.1～当月)	92か月連続▲ (H20.10～当月)
前年同月比幅	H28.4 ▲4.3%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H28.4 ▲7.5%以来 ①H21.2 ▲50.8% ②H21.3 ▲46.1% ③H21.1 ▲40.7%	H28.1 ▲1.2%以来 ①H21.2 ▲32.0% ②H21.3 ▲30.7% ③H21.1 ▲25.8%	H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.7, 8, H26.11 ▲2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21.9, H26.12 ▲1.9%	H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.8 ▲2.7% ②H21.7, H25.7, H26.1, 2 ▲2.6%	H28.4 ▲1.5%以来 (超)H27.3 ▲1.6%以来 ①H22.12, H23.1 ▲2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

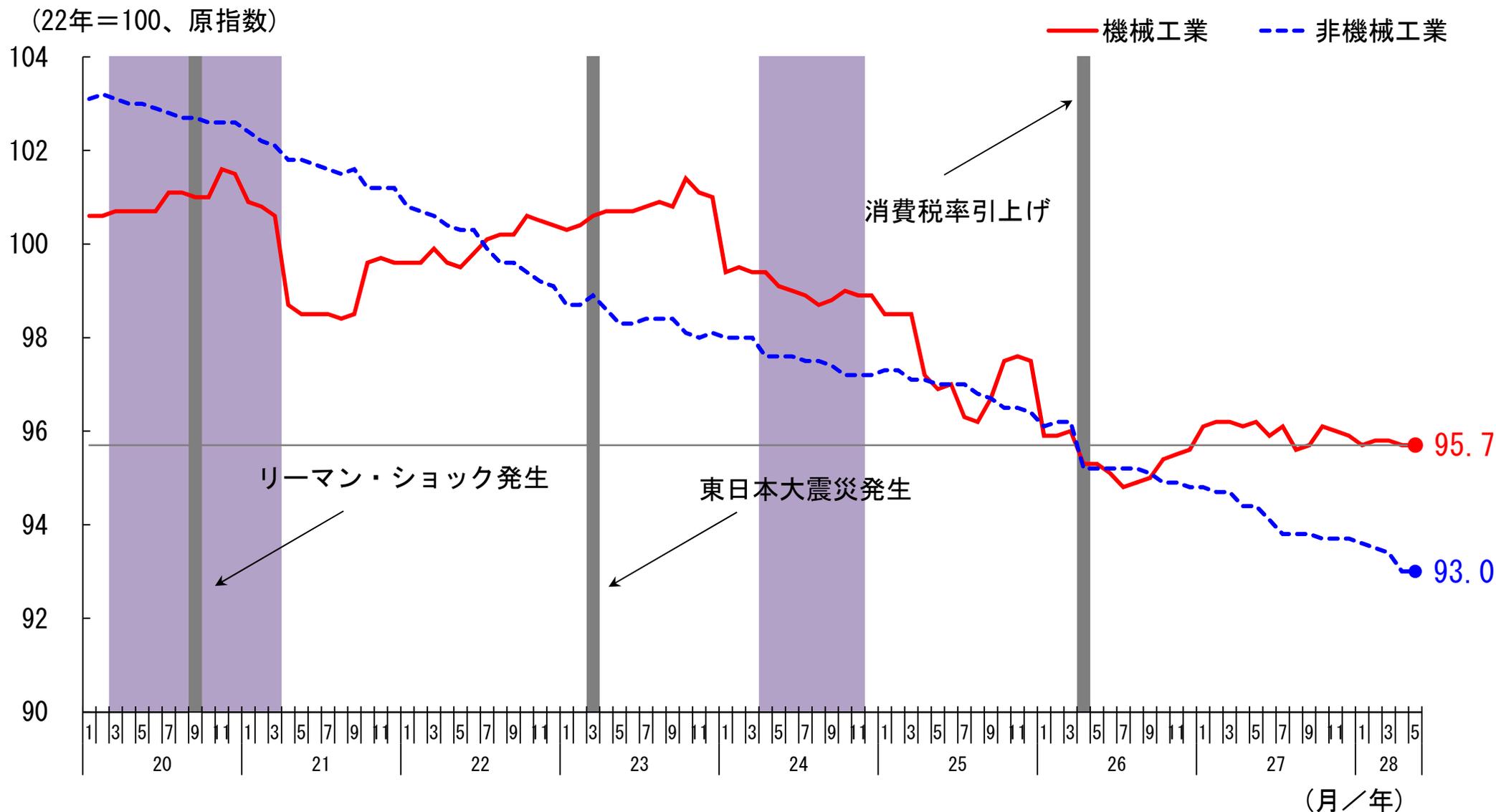
# 稼働率と生産能力の循環図(製造工業)





# 機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年5月の機械工業の生産能力指数は95.7(前月比0.0%)と横ばい。
- 非機械工業の生産能力指数は93.0(前月比0.0%)と横ばい。

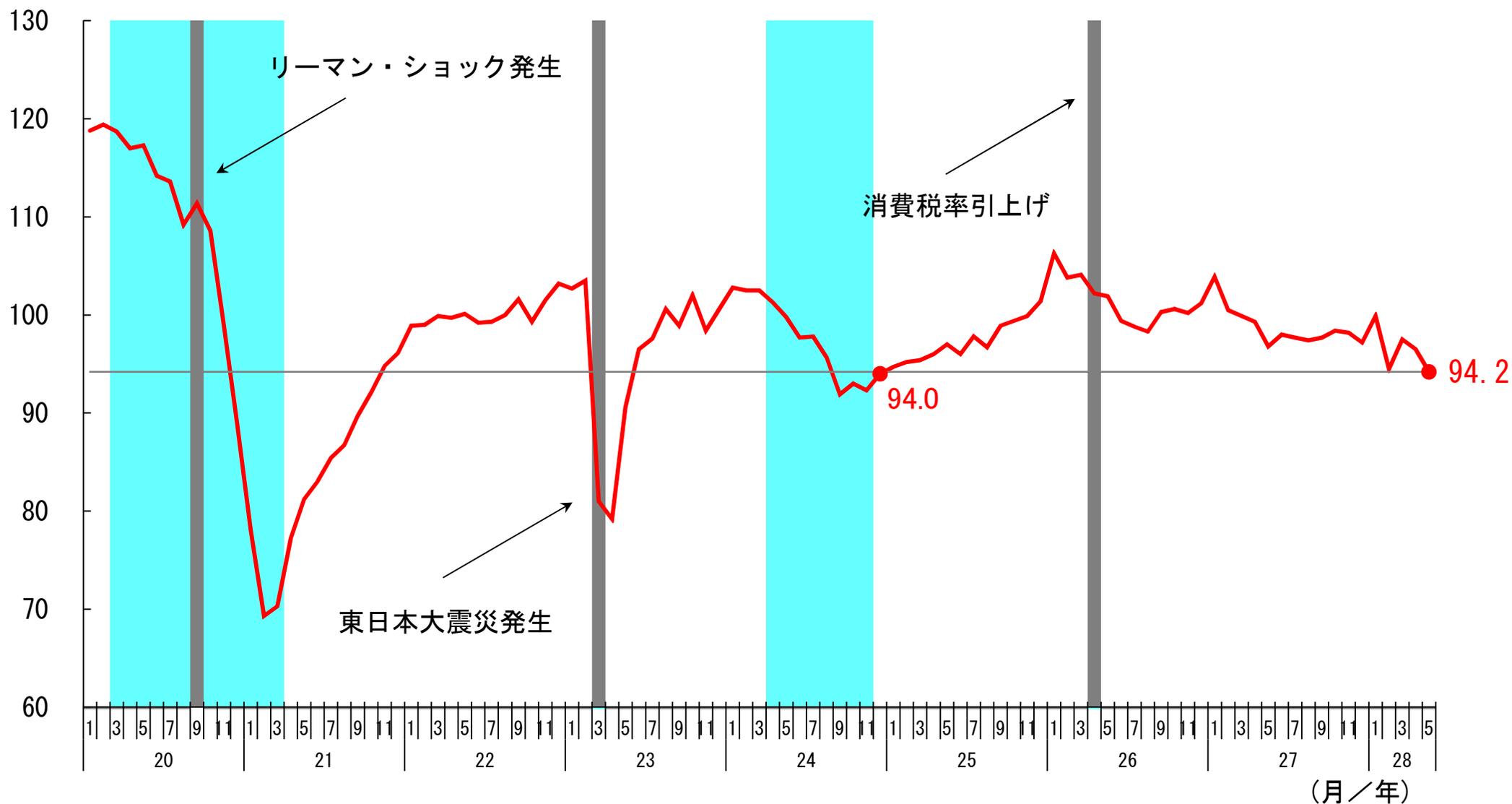


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

# 製造工業稼働率指数の動向

- ・平成28年5月の製造工業稼働率指数は94.2(前月比▲2.4%)と2か月連続の低下。
- ・平成24年12月の94.0以来の指数水準。

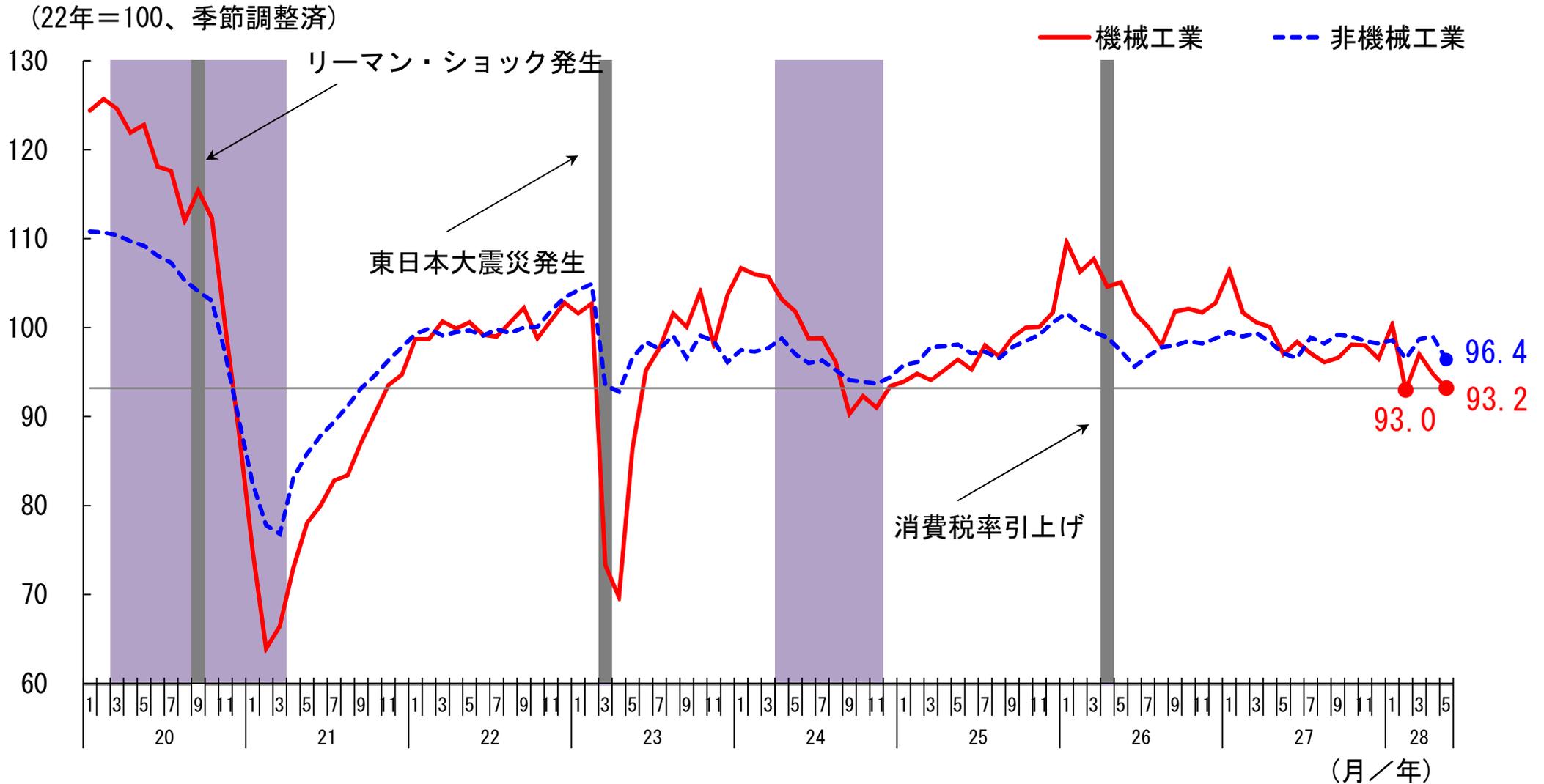
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は景気後退局面

# 機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年5月の機械工業の稼働率指数は93.2(前月比▲1.7%)と2か月連続の低下。平成28年2月の93.0以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は96.4(前月比▲2.6%)と3か月ぶりの低下。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

# 製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年5月の製造工業稼働率指数は、輸送機械工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲2.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

